



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和3年9月7日

市長記者会見資料

令和3年度（第50回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました

1 川崎市文化賞等受賞者（敬称略）



〔川崎市文化賞〕

くろき としお
黒木 登志夫（学術）



〔川崎市文化賞〕

にほんち めいけんきゅうじょ
日本地名研究所（学術）



〔川崎市文化賞〕

ほうじょう ひでえ
北條 秀衛（文化活動）



〔川崎市文化賞〕

じどうがっしょうだん
ゆりがおか児童合唱団



〔川崎市社会功労賞〕

いしやま はるへい
石山 春平（社会福祉）



〔川崎市社会功労賞〕

かたおか ただし
片岡 正（保健衛生）



かがやき
〔川崎市アゼリア 輝賞〕

かとう りりか
加藤 梨里香（芸術／演劇）



かがやき
〔川崎市アゼリア 輝賞〕

さいとう けんた
齊藤 健太（芸術／音楽）

2 川崎市文化賞等贈呈式 ※詳細は後日改めてお知らせいたします。

(1) 日時 令和3年11月4日（木）午後2時～午後3時15分

(2) 場所 川崎市国際交流センター

（問合せ先）
川崎市市民文化局市民文化振興室 担当 松山
電話 044-200-2122

<目 次>

	(ページ)
1 令和3年度川崎市文化賞等受賞者一覧	1
2 受賞者のプロフィール・略歴（敬称略）	
(1) 川崎市文化賞受賞者	
黒木 登志夫	2
日本地名研究所	4
北條 秀衛	6
ゆりがおか児童合唱団	8
(2) 川崎市社会功労賞受賞者	
石山 春平	10
片岡 正	12
(3) 川崎市アゼリア輝賞	
加藤 梨里香	14
齊藤 健太	16
3 令和3年度川崎市文化賞等選考委員	18
(参考)	
1 川崎市文化賞等実施要綱	19
2 川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表	21
3 これまでに受賞された方々	23
4 川崎市文化賞等の経過について	26

令和3年度 第50回川崎市文化賞等受賞者一覧

(敬称略・令和3年9月7日現在)

賞	氏名	年齢 活動年数	分野	住所
文化賞	<small>くろき としお</small> 黒木 登志夫	85	学術	川崎市中原区
	<small>にほんち めいけんきゅうじょ</small> 日本地名研究所	39	学術	川崎市高津区
	<small>ほうじょう ひでえ</small> 北條 秀衛	75	文化活動	川崎市麻生区
	<small>じどうがっしょうだん</small> ゆりがおか児童合唱団	51	文化活動	川崎市麻生区
社会功労賞	<small>いしやま はるへい</small> 石山 春平	85	社会福祉	川崎市宮前区
	<small>かたおか ただし</small> 片岡 正	69	保健衛生	東京都
アゼリア輝賞	<small>かとう りりか</small> 加藤 梨里香	23	芸術／演劇	川崎市高津区
	<small>さいとう けんた</small> 齊藤 健太	28	文化／音楽	埼玉県

文化賞等贈呈の趣旨

文化賞	本市における文化芸術の向上・発展に尽力され、その功績が顕著な方、教育・学術・芸術の分野で創造的な活動・実績により本市のシティセールスにつながる成果をあげ、その功績が顕著な個人又は団体に贈呈するもの。
社会功労賞	市民生活や地域社会の向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著な個人又は団体に贈呈するもの。
アゼリア輝賞	文化・芸術分野など、現在活躍中の若年層及び中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体に贈呈するもの。

※スポーツ賞は今年度該当なし

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

くろき としお
黒木 登志夫

～がん研究とかわさき市民アカデミーの発展に貢献～

長年にわたって、がん研究に従事され、日本のがん医療の発展に大きく貢献されるとともに、東京大学医科学研究所教授、岐阜大学学長、日本癌学会会長等の要職を歴任され、日本の医学界を牽引してこられました。

サイエンスライターとしても活躍され、多数の著書を発行し、正確な医学情報をわかりやすく解説され、近年では、新型コロナウイルス感染症に関して、感染症の基礎知識や研究の最新情報を伝える活動に積極的に取り組まれています。長年お住まいの川崎市でも、かわさき市民アカデミーの講師として、医学や生命科学全般について、市民にわかりやすく伝える活動に尽力されています。



略 歴	
氏 名	黒木 登志夫 様
生 年 月 日	昭和11(1936)年1月10日 (85歳)
住 所	川崎市中原区
職 業 等	医学博士 東京大学名誉教授 日本学術振興会学術システム研究センター顧問
昭和35(1960)年	東北大学医学部卒
	昭和36(1961)年から平成13(2001)年まで、3カ国5つの研究所でがんの基礎研究に従事(東北大学加齢医学研究所、東京大学医科学研究所、ウィスコンシン大学、WHO国際がん研究機関、昭和大学)
昭和41(1966)年	医学博士。東北大学抗酸菌病研究所助手
昭和42(1967)年	東北大学医学部助教授
昭和46(1971)年	東京大学医科学研究所助教授、1984年 教授
平成8(1996)年	定年退官、名誉教授、昭和大学教授
平成12(2000)年	日本癌学会会長
平成13(2001)年	岐阜大学学長(～平成20年)、同名誉教授
平成20(2008)年	日本学術振興会学術システム研究センター副所長 文科省世界トップレベル研究拠点(WPI)プログラムディレクター、アカデミーディレクター。令和2(2020)年まで
平成24(2012)年	日本学術振興会学術システム研究センター相談役
平成28(2016)年	日本学術振興会学術システム研究センター顧問

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

にほんちめいけんきゅうじょ 日本地名研究所

～地名、風土の価値を伝えて40年～

川崎市を拠点に、時代とともに失われつつある古い地名の由来等に関する学術的な研究を重ね、土地の風土と不可分の地名の価値を発信する活動を継続されています。

日本の民俗学に大きな足跡を残した谷川健一氏を初代所長として発足して以来、40年にわたり、全国地名研究者大会の開催、各地の地名研究会の支援など、地名や風土を見直す全国的な研究活動の中心的役割を果たされてこられました。

川崎市においては、研究成果を「川崎の町名」「川崎地名辞典」などの著書にまとめるとともに、地名に関する市民講座などを通じ、市民が自分の住む地域の歴史・文化への理解を深め、地元への愛着を深める機会を提供いただいています。



日本地名研究所 かねだ ひさあき 金田久璋所長



日本地名研究所事務局の皆様

略 歴	
氏 名	日本地名研究所 様 (個人会員 200 名、加盟団体 40)
設 立 年 月 日	昭和 5 6 (1 9 8 1) 年 1 0 月 2 0 日 (3 9 年)
活 動 拠 点	川崎市高津区
職 業 等	地名研究
昭和56(1981)年	「地名を通して『地方の時代』を考える全国シンポジウム」にて設立決議され、10月に発足
昭和57(1982)年	第1回全国地名研究者大会を川崎市で開催
昭和59(1984)年	研究交流誌「地名と風土」創刊
平成2(1990)年	「川崎地名百人一首」刊行
平成3(1991)年	「川崎の町名」刊行
平成4(1992)年	初代所長谷川健一氏が川崎市文化賞受賞
平成5(1993)年	「日本地名研究所通信」第1号刊行
平成16(2004)年	「川崎地名辞典 上・下」刊行
平成19(2007)年	初代所長谷川健一氏が文化功労者受賞
平成20(2008)年	「地名講座」開講(以後、毎年開催) 神奈川文化賞を受賞
平成25(2013)年	初代所長谷川健一氏逝去
令和3(2021)年	日本地名研究所創設40周年・初代所長 谷川健一生誕100年を記念し、 第40回全国地名研究者大会「谷川民俗学の可能性 ―小さきものの声を聞く―」を川崎市で開催

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

ほうじょう ひでえ
北條 秀衛

～深い造詣と情熱で川崎の文化芸術振興を牽引～

川崎市の教育長などを歴任された後、公益財団法人川崎市文化財団理事長、岡本太郎美術館館長を歴任され、本市の文化芸術事業に広く携わってこられました。

川崎市文化財団理事長として、ミュージアム川崎シンフォニーホール、川崎市アートセンター等の運営、発展に尽力されるとともに、御自身の芸術や伝統芸能への深い造詣と情熱により、かわさきジャズ、川崎しんゆり芸術祭、川崎大師薪能など、多くの市民に親しまれている大型文化事業の立ち上げや運営を牽引され、本市の文化芸術振興に貢献されました。また、岡本太郎美術館館長として、本市出身の芸術家である岡本太郎の魅力を市民に伝え、館の発展に尽力されました。



略 歴	
氏 名	北條 秀衛 様
生 年 月 日	昭和21(1946)年6月27日 (75歳)
住 所	川崎市麻生区
職 業 等	公益財団法人川崎市文化財団顧問 前公益財団法人川崎市文化財団理事 理事長 前岡本太郎美術館館長
昭和44(1969)年	川崎市役所入庁
平成5(1993)年	教育委員会事務局文化課長
平成7(1995)年	岡本太郎美術館準備室長
平成11(1999)年	岡本太郎美術館副館長
平成12(2000)年	総合企画局臨海部整備推進室長
平成15(2003)年	総合企画局長
平成17(2005)年	教育長
平成19(2007)年	川崎市役所退職 川崎市文化財団副理事長
平成21(2009)年	第1回「川崎・しんゆり芸術祭」開催(以後、毎年開催)
平成23(2011)年	川崎市文化財団理事長
平成24(2012)年	岡本太郎美術館館長
平成26(2014)年	平成23年を最後に休止していた「川崎大師薪能」を3年ぶりに開催 (以後、毎年開催)
平成27(2015)年	第1回「かわさきジャズ」開催(以後、毎年開催)
平成28(2016)年	川崎市文化財団顧問(～現在) 川崎・しんゆり芸術祭特別参与(～現在) かわさきジャズ特別参与(～現在)
令和3(2021)年	岡本太郎美術館館長退任

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

じどうがっしょうだん ゆりがおか児童合唱団

～地域から世界に響く子どもたちの美しい歌声～

子どもたちが音楽によって、健やかな、豊かな心で成長してほしいとの願いのもと、昭和45年に麻生区百合丘で創立され、創立50周年を迎えました。市内での定期演奏会の開催、音楽イベントへの参加など、地域に根差した音楽活動を継続され、小学校1年生から高校3年生の子どもたちによる美しい歌声は、長年にわたって市民に愛されています。

数多くの合唱祭等にて数々の賞を受賞され、著名なオーケストラやアーティストとの共演、テレビ出演、海外への演奏旅行を行うなど、活躍の場を広げるとともに、合唱団の卒業生が音楽家や音楽指導者として活躍するなど、川崎を代表する児童合唱団として、本市の音楽文化の向上に貢献されています。



略 歴	
氏 名	ゆりがおか児童合唱団 様
設 立 年 月 日	昭和45（1970）年4月（51年）
活 動 拠 点	川崎市麻生区
職 業 等	児童合唱団
昭和45(1970)年	百合丘団地で合唱団誕生
昭和52(1977)年	第1回定期演奏会を開催。海外の少年合唱団との演奏会等活動が広がる
昭和54(1979)年	NHK「みんなのうた」録音
昭和56(1981)年	全日本少年少女合唱連盟合同演奏会札幌大会出演
昭和62(1987)年	多摩地域文化賞受賞
平成8(1996)年	創立25周年記念行事として海外演奏旅行の実施(ハンガリー、オーストリア)
平成12(2000)年	かわさき21世紀カウントダウンイベント読売日本交響楽団と出演
平成16(2004)年	第9回 花とライオン児童合唱音楽賞受賞 ミューザ川崎シンフォニーホールこけら落としコンサート出演
平成17(2005)年	麻生区イメージソング「かがやいて麻生」録音
平成19(2007)年	川崎市・リエカ市交流30周年記念コンサート出演
平成20(2008)年	久石譲 in 武道館出演 NHK紅白歌合戦出演(東京少年少女合唱隊と共演)
平成22(2010)年	教育出版小学校音楽CDレコーディング
平成25(2013)年	アルテリッカしんゆり2013 オペラ「カルメン」出演
平成27(2015)年	アニモ KAWASAKI 演奏会「フォーレ・レクイエム」出演
平成30(2018)年	プラチナ音楽祭出演 カフェ・グランデ あさお出演
令和元(2019)年	川崎市名誉文化大使雨谷麻世30周年記念リサイタル出演
令和3(2021)年	創立50周年記念行事開催

川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

いしやま はるへい
石山 春平

～差別や偏見のない社会を目指して～

ハンセン病回復者として、日本におけるハンセン病患者の権利回復の運動を牽引してこられました。実名を公表し、ハンセン病に対する誤った偏見や差別に苦しんだ経験をもとに、全国各地で講演を行い、人権啓発活動に注力されてきました。

長年お住まいの川崎市においては、30年以上にわたり障害者の生活を支援するガイドヘルパーに従事され、市の福祉団体の役員を務めるなど、地域の障害者支援のリーダーとして、地域福祉の向上に貢献されるとともに、福祉と人権問題に関する市民向けの講演を行うなど、差別や偏見のない社会の実現に尽力されています。



略 歴	
氏 名	石山 春平 様
生 年 月 日	昭和11（1936）年2月15日 （85歳）
住 所	川崎市宮前区
職 業 等	ハンセン病回復者 全国ハンセン病療養所退所者連絡会副会長 川崎市肢体障害者協会会長
昭和22(1947)年	ハンセン病と診断される
昭和27(1952)年	神山復生病院に入院。以後15年間を過ごす
昭和43(1968)年	結婚により社会復帰。その後川崎市へ転入
昭和50(1975)年	障害者の生活を支援するガイドヘルパーに従事（～平成20年まで）
平成13(2001)年	らい予防法違憲国家賠償訴訟を機にハンセン病回復者であることをカミングアウト
平成18(2006)年	厚生労働大臣賞受賞
平成20(2010)年	日本身体障害者団体連合会会長賞受賞
平成29(2017)年	神奈川県弁護士会人権賞受賞
平成30(2018)年	「ボンちゃんは 82 歳、元気だよ!～あるハンセン病回復者の物語」出版
令和3(2021)年	ドキュメンタリー映画「マイ・ラブ 6つの愛の物語」がNetflixにて配信開始

川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

かたおか ただし
片岡 正

～地域の子どもを守り、市民の命を守る～

平成8年に川崎市内に小児科医院を開業されて以来、長年にわたり、地域の小児科医として、地域の母子保健の向上のために尽力されてきました。併せて、川崎市医師会の副会長等を務め、市全体の医療体制の充実を目指して、病児・病後児保育施設の開設、小児救急医療体制の整備などに尽力され、地域の子育て支援体制の充実や小児医療の発展に貢献されました。

新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、川崎市医師会の担当副会長として指導的な役割を担い、市や医療関係団体と連携し、感染症の検査やワクチン接種体制を構築するなど、市民の命を守るため、感染症の終息に向けた取組に副会長を退任された今も尽力されています。



略 歴	
氏 名	片岡 正 様
生 年 月 日	昭和26（1951）年12月3日 （69歳）
住 所	東京都世田谷区
職 業 等	医師 かたおか小児科クリニック院長 前川崎市医師会副会長
昭和53(1978)年	信州大学医学部卒業 東京大学医学部附属病院小児科研修医
昭和57(1982)年	東京大学医学部小児科助手
昭和59(1984)年	日本赤十字社医療センター小児科医員
平成8(1996)年	川崎市にかたおか小児科クリニック開設
平成11(1999)年	川崎市医師会 理事
平成15(2003)年	川崎市予防接種運営委員会 委員(～現在)
平成19(2007)年	川崎市北部小児急病センター運営委員会 委員(～現在)
平成20(2008)年	NPO 法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会 理事(～現在)
平成21(2009)年	川崎市母子保健懇談会 委員(～現在)
平成23(2011)年	川崎市医師会 理事(～平成25年) 川崎市感染症対策協議会 委員(～令和3年) 川崎市感染症診査協議会 委員(～令和3年) 川崎市小児慢性特定疾病審査会 委員(～現在) 川崎市中部児童相談所嘱託医(～現在)
平成24(2012)年	予防接種推進専門協議会 委員(日本小児科医会代表委員)(～現在)
平成25(2013)年	川崎市医師会 副会長(～令和3年) 川崎市血液対策協議会 委員(～現在) 川崎市子ども・子育て会議 委員(～現在)
平成26(2014)年	川崎市児童福祉審議会 委員(～現在) 川崎市要保護児童対策地域協議会 委員(～現在)
平成27(2015)年	川崎市発生動向調査委員会 委員長(～令和3年) 川崎市結核対策推進委員会 委員(～令和3年) 川崎市新型インフルエンザ等対策委員会 委員(～令和3年)
平成29(2017)年	社会福祉法人虹の会 病児保育担当業務執行理事(～現在)
平成30(2018)年	日本小児科医会 公衆衛生委員会 委員長(～現在) 川崎市医療的ケア児連絡調整会議 委員(～現在)
令和3(2021)年	川崎市小児科医会 会長(～現在)

川崎市アゼリア輝受賞者のプロフィール

かとう りりか
加藤 梨里香

～川崎生まれ、川崎育ち。舞台上で輝く若手俳優～

2歳から子役として活躍し、現在はミュージカルなどの舞台を中心に活動され、これまでに30以上の舞台に出演されています。

今年公演の帝国劇場ミュージカル「レ・ミゼラブル」では、主役級のヒロイン、コゼットを熱演するなど、目覚ましい活躍を見せる、現在注目の若手俳優です。

川崎生まれ、川崎育ちの俳優として、テレビやラジオ番組、自身のSNSを通して、独自の視点で川崎の魅力も発信いただいています。



略 歴	
氏 名	加藤 梨里香 様
生 年 月 日	平成10(1998)年3月20日 (23歳)
住 所	川崎市高津区
職 業 等	俳優
平成22(2010)年	川崎市立東高津小学校卒業
平成25(2013)年	川崎市立高津中学校卒業 ミュージカル「GHETTO」主演:ゲルダ役 気晴らし BOYZ「ろくでなしコーラス」千秋役 ミュージカル「LADYBIRD,LADYBIRD」主演:テントウムシのアン役
平成26(2014)年	劇団レトロノート「クランクアップはまだ早い～Bloom Your Flower～」花城南役
平成27(2015)年	ミュージカル「マリアと緑のプリンセス」主演:マリア役
平成28(2016)年	ミュージカル「花より男子 The Musical」ヒロイン:牧野つくし役 舞台「剣豪将軍義輝」(前編) ヒロイン:真羽役
平成29(2017)年	ミュージカル「ビッグ・フィッシュ」アンサンブル 舞台「剣豪将軍義輝」(後編) ヒロイン:小侍従(真羽)役 ミュージカル「マリアと緑のプリンセス」主演:マリア役
平成30(2018)年	ミュージカル「スター誕生」ヒロイン:小川百合子 役 気晴らし BOYZ「ふらちな侍」お鶴役 「月ノツカイ Underground lovesong」 真実役 錦織劇団「ばけものがでた」 まふゆ役
平成31(2019)年	パルコプロデュース 2019 音楽劇「マニアック」
令和元(2019)年	ミュージカル「ひめゆり」はる役 出演 新作ミュージカル「怪人と探偵」出演 ミュージカル「(愛おしき)ボクの時代」出演
令和2(2020)年	明治座公演「両国花錦闘志」 出演 tvk「LOVE かわさき 『私の見た川崎～俳優加藤梨里香編～』」出演。
令和3(2021)年	FMヨコハマ「CORORFUL KAWASAKI」出演 帝国劇場ミュージカル「レ・ミゼラブル」コゼット役 出演

川崎市アゼリア輝受賞者のプロフィール

さいとう けんた
齊藤 健太

～サクソフォーンの音色が川崎の未来を彩る～

洗足学園音楽大学出身のサクソフォーン奏者で、4年に一度開催される、世界で最も権威があるといわれる「アドルフサククス国際コンクール」で第1位を受賞した、いま最も将来が囑望されている若手音楽家の1人です。全国各地でのリサイタルや、オーケストラとの共演などの多岐にわたる活動を通じ、サクソフォーンの新しい可能性を模索されています。

市内での演奏活動や後進への指導にあたられており、川崎市の音楽文化の担い手として、今後の益々の活躍が期待されています。



略 歴	
氏 名	齊藤 健太 様
生 年 月 日	平成 4 (1 9 9 2) 年 1 0 月 2 7 日 (2 8 歳)
住 所	埼玉県草加市
職 業 等	サクソフーン奏者
平成 23 (2011) 年	洗足学園音楽大学入学
平成 26 (2014) 年	第 31 回日本管打楽器コンクールサクソフーン部門で第3位に入賞
平成 27 (2015) 年	洗足学園音楽大学を優勝賞を受けて卒業 第 27 回大仙市大曲新人音楽祭コンクール管楽器部門最優秀賞及び第 28 回同コンクールの披露演奏への審査員推薦
平成 29 (2017) 年	東京藝術大学別科修了 第 34 回日本管打楽器コンクールサクソフーン部門で第3位に入賞
平成 30 (2018) 年	第9回国際サクソフーンコンクール ノヴァゴリツァ(スロベニア)で第2位
令和元(2019)年	アドルフサククス国際コンクールにて日本人として 17 年ぶりに第 1 位を獲得。及び新曲賞受賞
令和 2 (2020) 年	洗足学園音楽大学講師(~現在)

令和3年度 川崎市文化賞等選考委員(敬称略・五十音順)

	氏 名	分 野	所 属
1	伊東 文生	保健衛生	聖マリアンナ医科大学教授
2	川崎 一泰	産業経済	中央大学教授
3	菊地 正	スポーツ	川崎市総合型地域スポーツクラブ 育成連絡協議会会長
4	久保田 昌希	学術 (人文科学-歴史学)	駒澤大学名誉教授
5	小森谷 巧	芸術 (音楽-器楽)	昭和音楽大学教授
6	田中 純子	芸術 (音楽-声楽)	洗足学園音楽大学名誉教授
7	林 容子	芸術 (美術)	尚美学園大学・大学院准教授
8	山田 健太	学術 (人文科学-言論学)	専修大学教授
9	行實 志都子	社会福祉	神奈川県立保健福祉大学教授
10	加藤 順一	行政	副市長
11	中村 茂	行政	市民文化局長
12	石井 宏之	行政	教育次長

川崎市文化賞等実施要綱

(目的)

第1条 川崎市の文化、芸術、学術、教育、社会福祉、保健衛生及びスポーツ等の向上並びに及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

(文化賞等の種類)

第2条 川崎市文化賞等の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 川崎市文化賞
- (2) 川崎市社会功労賞
- (3) 川崎市スポーツ賞
- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

(主催)

第3条 川崎市文化賞等の主催は、川崎市とする。

(候補者の推薦)

第4条 川崎市文化賞等に係る受賞の対象となる候補者については、次に掲げるものから必要書類を添えた第1号様式又は第2号様式により推薦を受ける。

- (1) 市内の関係機関及び団体
- (2) 本市における局区室

(文化賞等の選考)

第5条 川崎市文化賞等に係る受賞者の選考は、川崎市附属機関設置条例(平成27年川崎市条例第1号)第2条及び第3条の規定に基づき、川崎市文化賞等選考委員会(以下「選考委員会」という。)が行う。

(選考基準)

第6条 受賞者は、川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある者で、次の基準に該当する者等のうちから、選考委員会の選考に基づき、市長が決定する。

- (1) 川崎市文化賞

川崎市における文化・芸術の向上・発展に尽力し、その功績が顕著と認められる者等又は教育・学術・芸術の分野において、創造的な活動・実績により川崎市のシティセールスにつながる成果をあげ、その功績が顕著と認められる者等

- (2) 川崎市社会功労賞

川崎市における市民生活や地域社会の向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著と認められる者等

- (3) 川崎市スポーツ賞

国際大会や国内大会等で卓越した成績、記録をあげた者等又は川崎市におけるスポーツの向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著と認められる者等

- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

文化・芸術分野において現在活躍中の若年層又は中堅層で、更に今後の活躍が特に期待さ

れる者、川崎らしい特色ある活動をしている者、特定の分野における抜群の成果を収めた者
等

(表彰)

第7条 第6条の規定により、決定した者について、賞状及び副賞を贈呈し、これを表彰する。

(特別賞)

第8条 市長は、この要綱に定めるもののほか、特に顕著な活躍をし、功績があった個人又は団体
に対し、選考委員会の選考を経ずに特別賞を贈呈することができる。

(庶務)

第9条 川崎市文化賞等に関する庶務は、市民文化局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年7月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年9月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年3月1日から施行する。

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

	分野	推薦基準
文化賞	教育	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、川崎市における文化の向上、発展に尽力し、また貢献し、とくにその功績顕著な者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における文化の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	学術	
	芸術	
	文化活動	
社会功労賞	社会福祉	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	保健衛生	
	産業・経済	
	地域振興	
スポーツ賞	スポーツ実践	<p>1 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人又は団体であり、次のいずれかに該当</p> <p>(1) 国際大会入賞</p> <p>(2) 国内大会2年連続優勝又はこれに準じた成績</p> <p>(3) 競技人口が多く、レベルの高い国内大会に優勝又はこれに準じた成績</p> <p>(4) 日本新記録など特に優秀な記録</p> <p>※対象となる大会は、次のとおりとする。</p> <p>ア 国際大会</p> <p>オリンピック競技大会、世界選手権大会(ワールドカップ)、アジア大会、ユニバーシアード、パラリンピック、フェスピックその他これに準じた大会</p> <p>イ 国内大会</p> <p>日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、その他これに準じた大会</p>
	スポーツ振興	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した団体。</p>

	分野	推薦基準
アゼリア輝賞	文化 芸術 スポーツ 実践等	<p>1 若年層及び中堅層の個人又は団体</p> <p>(1) 個展・演奏会・公演・講演等の活動において現在活躍中で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体。</p> <p>(2) 川崎らしい特色ある活動をしている個人又は団体、特定の分野における抜群の成果を収めた個人又は団体。</p> <p>(3) 各部門においてその年に顕著な業績をあげ、広く市民に希望と感動をもたらした個人又は団体。</p>

川崎市文化賞等をこれまでに受賞された方々(敬称略)

No. 1

昭和47年度(第1回)		昭和56年度(第10回)		昭和63年度(第17回)	
安藤 英輔 (研究活動)	奥田 千秋 (保健衛生)	井上 房江 (保健衛生)			
石川 八代次 (教育実践)	芹澤 忠蔵 (社会福祉)	竹田 道太郎 (芸術)			
伊藤 六郎兵衛 (郷土史研究)	野本 琢 (社寺建築)	土方 恵治 (教育)			
大古 誠司 (スポーツ実践)	藤子不二雄 (児童漫画)	水原 春郎 (地域医療)			
川崎市民交響楽団 (音楽)	京浜協同劇団 (地域文化)	三井 春富 (文化交流)			
斉藤 茂 (美術)	昭和57年度(第11回)		幸の会 (社会福祉)		
中原 誠 (一般文化)	植松 正子 (母子保健)	平成元年度(第18回)			
昭和48年度(第2回)		高野 榮 (障害者福祉)	内海 榮一郎 (地域医療)		
圓鍔 勝二[勝三] (美術)	田邊 秀治 (社会福祉)	奥田 良三 (芸術)			
笠井 儀郎 (スポーツ実践)	松原 秀耕 (文化振興)	柏木 武司 (社会福祉)			
庄野 潤三 (文芸)	山田 太一 (文芸)	亀ヶ谷 利男 (文化財保護)			
高島 松柏 (教育実践)	川崎古式消防纏保存会 (文化財保護)	手塚 彌太郎 (産業振興)			
日本鋼管株式会社硬式野球部 (スポーツ実践)	川崎青年会議所・高津青年会議 (地域文化)	野谷 博司 (教育)			
昭和49年度(第3回)		昭和58年度(第12回)		三宅 忠雄 (保健衛生)	
太田 清一 (保健衛生)	嘉重 きよ (社会福祉)	東芝女子バスケットボール部 (スポーツ実践)		平成2年度(第19回)	
小笠原 洪一 (スポーツ実践)	古尾谷 盛太郎 (地域文化)	石川 幾蔵 (地域文化)			
金子 直蔵 (社会福祉)	前田 徳尚 (保健衛生)	一ノ瀬 志郎 (保健衛生)			
山室 静 (文芸)	森 爽海 (教育)	小川 信夫 (教育)			
結城 正雄[天童] (美術)	川崎市歯科医師会心身障害児 (社会福祉)	小黒 恵子 (芸術)			
昭和50年度(第4回)		歯科治療協力医グループ		小西 乾太郎 (文化振興)	
川嶋 廣吉 (保健衛生)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	濱田 靖一 (学術)			
齋藤 壽一 (絵画)	川崎野球部<通信制>	さざなみ会 (社会福祉)			
島田 きみ (社会福祉)	人形劇団ひとみ座 (演劇)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)			
藤田 親昌 (文化振興)	昭和59年度(第13回)		アメリカンフットボール部		
松尾 興助 (社会教育)	石川 芳松 (文化財保護)	平成3年度(第20回)			
昭和51年度(第5回)		磯野 和久 (保健衛生)	文化賞		
大山 義隆 (保健衛生)	臼田 吉男 (保健衛生)	井上 和賀雄 (教育)			
國枝 慶一 (社会福祉)	小野寺 章彦 (スポーツ実践)	市川 昭介 (芸術)			
久保 常晴 (学術)	柏倉 政男 (社会福祉)	日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)			
濱田 庄司 (美術)	小林 英男 (地域文化)	社会功労賞	安藤 武次 (社会福祉)		
まど・みちお (文学)	長江 録弥 (芸術)	松田 文太郎 (保健衛生)			
多摩芸術学園「わが町一溝の口」(演劇)	前田 豊子 (教育)	三木 齊 (産業経済)			
構成・出演者一同	法政大学第二高等学校ハレホール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	山田 敬蔵 (スポーツ振興)		
昭和52年度(第6回)		昭和60年度(第14回)		東芝野球部 (スポーツ実践)	
高橋 憲太郎 (文化振興)	井田 潔 (保健衛生)	富士電機女子ハレホール部 (スポーツ実践)			
馬來田 善孝 (美術)	岡 時義 (社会福祉)	平成4年度(第21回)			
宮田 多良喜 (スポーツ振興)	栗田 正文 (保健衛生)	文化賞			渋谷 益左右 (文化活動)
川崎沖縄芸能研究会 (文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	市川 康彦 (学術)			
昭和53年度(第7回)		坂東 忠彦 (教育)	谷川 健一 (学術)		
麻生 三郎 (美術)	米山 市郎 (地域文化)	萩坂 桃彦 (芸術)			
渡辺 三郎 (保健衛生)	禰直舞保存会 (文化財保護)	東芝科学館 (文化活動)			
市川 昇 (文化振興)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	市川 ハル (社会福祉)		
小向・菅・初山の獅子舞保存会 (文化財保護)	フェンシング部	鈴木 清次 (地域振興)			
河上 徹太郎 (文芸)	昭和61年度(第15回)		渡邊 嘉造伊 (保健衛生)		
東芝野球部 (スポーツ実践)	小田切 純一 (医療)	スポーツ賞			
中山 貞治 (社会福祉)	小林 明治 (障害者福祉)	NKKバスケットボール部 (スポーツ実践)			
昭和54年度(第8回)		昭和62年度(第16回)		平成5年度(第22回)	
青江 舜二郎 (演劇)	白井 禄郎 (教育実践)	文化賞			岩谷 隆存 (教育)
石井 展子 (社会福祉)	田中 岑 (芸術)	古江 亮仁 (文化財保護)			
齋藤 武雄 (スポーツ振興)	沼田 稲次郎 (教育実践)	村上 直 (学術)			
田中 利三 (保健衛生)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	近藤 正夫 (保健衛生)		
箕輪 敏行 (社会教育)	川崎<通信制>卓球部	川崎信用金庫 (地域振興)			
新城郷土芸能保存会 (文化財保護)	水車の会 (社会福祉)	スポーツ賞	小林 完一 (スポーツ振興)		
昭和55年度(第9回)		昭和62年度(第16回)		早川 友二 (スポーツ実践)	
岡 信孝 (芸術)	猪熊 和吉 (地域文化)	檜森 祐之 (スポーツ実践)			
鈴木 弘治 (保健衛生)	西郷 信綱 (学術)	平成6年度(第23回)			
松井 浩正 (スポーツ振興)	鈴木 正 (教育)	文化賞			飯嶋 和夫 (教育)
持田 春吉 (社会教育)	中野 一雄 (スポーツ振興)	湯上 二郎 (教育)			
横山 央 (社会福祉)	二階堂 龍夫 (芸術)	小澤 征爾 (芸術)			
川崎少年少女合唱団 (地域文化)	古沢 妙 (社会福祉)	社会功労賞	高士 利男 (保健衛生)		
	馬嶋 正雄 (保健衛生)	中島 忠三 (地域振興)			
	梓の会 (社会福祉)	李 仁夏 (社会福祉)			

平成6年度(第23回)(続き)		平成13年度(第30回)(続き)		平成20年度(第37回)	
社会功労賞	近藤 俊朗 (社会福祉) 原 泰造 (社会福祉)	社会功労賞	壁 義彰 (社会福祉) 窪田 敏昭 (保健衛生) 小峯 利一 (産業経済)	文化賞	与 勇輝 (芸術) 佐藤 忠男 (芸術)
スポーツ賞	高橋 三代子 (スポーツ実践) 神奈川県立住吉高等学校 (スポーツ実践) フライング部LANCERS			社会功労賞	宮川 政久 (保健衛生) 和田 義盛 (地域振興)
平成7年度(第24回)		平成14年度(第31回)		平成21年度(第38回)	
文化賞	小川 一朗 (学術) 久保 陽子&弘中 孝 (芸術) 岡本 喜八 (芸術)	文化賞	中島 豪一 (文化活動) 民具製作技術保存会 (文化活動)	スポーツ賞	川崎市立橋高等学校 (スポーツ実践) ハレーボール部 富士通女子バスケットボール部 (スポーツ実践)
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉) 田中 忠一 (保健衛生) 高橋 隆天 (地域振興)	社会功労賞	芽の字会 (社会福祉) 松尾 成久 (保健衛生) 持田 俊夫 (産業経済)	アゼリア輝賞	大矢 高弓 (芸術(美術)) 廣田 美穂 (芸術(音楽))
スポーツ賞	隆三杉 太一 (スポーツ実践) 成田 真由美 (スポーツ実践)			国際貢献特別賞	中込 璋 (平和活動)
平成8年度(第25回)		平成15年度(第32回)		平成22年度(第39回)	
文化賞	碓井 正久 (教育) 麻生フルハーモニー管弦楽団 (芸術) 齋間 萬 (文化活動) 中川 竹泰 (文化活動)	文化賞	神奈川県立多摩高等学校 (芸術) 合唱部 齋藤 文夫 (文化活動)	文化賞	加古 里子 (芸術) 佐藤 征一郎 (芸術)
社会功労賞	馬嶋 喜多子 (社会福祉) 鈴木 正一 (保健衛生) 日本アイ・ピー・エム株式会社 (地域振興) 川崎事業所	社会功労賞	大谷 金一 (社会福祉) 栗山 覚 (保健衛生) 吉野 辰男 (地域振興)	社会功労賞	金子 忠雄 (社会福祉) 久保木 弘 (保健衛生) 朝日 健太郎 (スポーツ実践) 左澤 重明 (スポーツ振興)
スポーツ賞	三菱自動車川崎硬式野球部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 加藤 時太郎 (スポーツ振興)	アゼリア輝賞	大類 朋美 (芸術(音楽)) 真飛 聖 (芸術(演劇))
平成9年度(第26回)		平成16年度(第33回)		平成23年度(第40回)	
文化賞	篠原 一 (教育) 東芝ラドオン・ジャズ・オーケストラ (芸術) 今村 昌平 (芸術) 無羅多 正建 (文化活動)	文化賞	原田 尚彦 (学術) 大矢 紀 (絵画) 角田 益信 (郷土史)	文化賞	藤嶋 昭 (学術・教育) 白鳥 あかね (芸術(映画))
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉) 田辺 誠 (保健衛生)	社会功労賞	白野 明 (社会福祉) かわさき自然調査団 (地域振興)	社会功労賞	大山 泰弘 (社会福祉・産業経済) 太田 正治 (保健衛生) 中山 茂 (産業経済・地域振興)
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)	スポーツ賞	目黒 友薫 (フェンシング) 李 相日 (映画(監督)) 三瓶 将廣 (ハイクルモクロス)	スポーツ賞	車 耕作 (スポーツ振興) 小林 政高 (芸術(音楽)) 光岡 暁恵 (芸術(音楽)) 東芝野球部 (スポーツ実践) 川島 永嗣 (スポーツ実践) 稲本 潤一 (スポーツ実践) 中村 憲剛 (スポーツ実践) 中村 俊輔 (スポーツ実践) 森本 貴幸 (スポーツ実践) 鄭 大世 (スポーツ実践)
平成10年度(第27回)		平成17年度(第34回)		平成24年度(第41回)	
文化賞	芳賀 周一郎 (教育) 藤村 志保 (芸術) 細山郷土資料館 (文化活動)	文化賞	横山 榮二 (環境保全) 鶴澤 久 (能楽)	文化賞	青木 信雄 (教育) 井口 衛 (教育) 高野 映子 (文化活動)
社会功労賞	林 壽男 (社会福祉) 田山 四郎 (保健衛生) 福嶋 三郎 (産業経済)	社会功労賞	安藤 國男 (障害者福祉) 齊藤 二郎 (地域福祉) 田中 辰彦 (地域医療)	社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉) 小島 春男 (地域振興) (財)川崎市国際交流協会 (地域振興) 日本語講座ボランティア 後藤 正孝 (ピアノ)
スポーツ賞	佐々木 竹見 (スポーツ実践) 日野原 守 (スポーツ振興)	スポーツ特別賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 東芝ブレイブサンダース (スポーツ実践)	スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
平成11年度(第28回)		平成18年度(第35回)		平成25年度(第42回)	
文化賞	杉本 長治 (教育) 三輪 晃久 (芸術)	文化賞	小川 典子 (ピアノ) 小池 汪 (写真) 藤田 朝也 (演劇)	文化賞	江頭 秀夫 (文化活動) 和田 あき子 (文化活動) 萩原 保夫 (社会福祉) 間瀬 実 (保健衛生)
社会功労賞	電機連合神奈川県地方協議会 (社会福祉) 池田 宏 (保健衛生) 栗原 福蔵 (産業経済) 間島 快子 (地域振興)	社会功労賞	奥村 栄 (社会福祉) 杉浦 芳子 (地域医療)	社会功労賞	専修大学体育会サッカー部 (スポーツ実践) 垣内 悠希 (芸術(音楽)) 毛利 文香 (芸術(音楽)) 市立橋高等学校女子バレーボール部 (スポーツ実践) 立石 諒 (スポーツ実践)
スポーツ賞	伊東 浩司 (スポーツ実践)	スポーツ特別賞	富士通アリアソフトボール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	
平成12年度(第29回)		平成19年度(第36回)		文化賞	(公財)東京交響楽団 (芸術)
文化賞	篠田 卓夫 (教育) 渡辺 豊重 (芸術) 吉田 喜重 (文化活動)	文化賞	秋山 和慶 (音楽) 森川 定實 (平和運動)	社会功労賞	高橋 章 (保健衛生) 都倉 正明 (産業・経済) 飯田 和子 (地域振興)
社会功労賞	小林 五代子 (社会福祉) 工藤 昭 (産業経済)	社会功労賞	石井 哲夫 (社会福祉) 小泉 一郎 (産業経済)		
スポーツ賞	東芝男子バスケットボール部 (スポーツ実践) 伊丹 寅吉 (スポーツ振興)	スポーツ賞	法政大学アリアソフトボール部 (スポーツ実践) 春日山部屋 (スポーツ振興)		
平成13年度(第30回)		アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽)) 成海 璃子 (芸術(演劇))		
文化賞	森久保 安美 (教育) 名渡山 兼一 (文化活動) 上田 恒三 (文化活動)	スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)		

平成25年度(第42回)(続き)		平成30年(第47回)	
スポーツ賞	井端 弘和 (スポーツ実践)	文化賞	法政大学第二高等学校物理部 (教育)
	柿生青少年柔道会 (スポーツ振興)		三輪 修三 (学術)
アゼリア輝賞	内田 けんじ (芸術(映画))	社会功労賞	嶋 元 (保健衛生)
	毘 夏美 (芸術(音楽))	スポーツ賞	法政大学第二高等学校ハンドボール部 (スポーツ実践)
スポーツ特別賞	大久保 嘉人 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	大間々 昂 (芸術)
	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)		特定非営利活動法人カワサキミュージックキャスト (文化活動)
平成26年度(第43回)		スポーツ特別賞	河合 来夢 (スポーツ実践)
文化賞	城谷 護 (文化活動)		川崎フロンターレ (スポーツ実践)
	寺尾 嘉剛 (文化活動)		富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
	奈良岡 朋子 (芸術)		家長 昭博 (スポーツ実践)
	炉端の会 (文化活動)	令和元年(第48回)	
社会功労賞	井田 満夫 (保健衛生)	文化賞	太田 猛彦 (教育)
スポーツ賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)		国府 弘子 (芸術)
アゼリア輝賞	細川 千尋 (芸術(音楽))		藤嶋 とみ子 (文化活動)
	三寺 郷美 (芸術(ダンス))	社会功労賞	西野 博之 (社会福祉)
スポーツ特別賞	浜田 千穂 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	鈴木 菜穂子 (芸術)
	大久保 嘉人 (スポーツ実践)		友風 勇太 (スポーツ実践)
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)	スポーツ特別賞	望月 慎太郎 (スポーツ実践)
			富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
平成27年(第44回)		令和2年(第49回)	
文化賞	大谷 康子 (芸術)	文化賞	宮田 進 (教育)
	小原 孝 (芸術)		若宮 崇令 (教育・学術)
	長島 保 (文化活動)		伊藤 多喜雄 (芸術)
	渡辺 賢二 (教育)	社会功労賞	斐 重度 (社会福祉)
社会功労賞	新井 靖子 (社会福祉)		山内 典明 (保健衛生)
アゼリア輝賞	赤瀬 紗也香 (スポーツ実践)	スポーツ賞	川崎ブルーソックス (スポーツ振興)
	渡邊 麗美 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	本田 奎 (文化)
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践)	スポーツ特別賞	川崎フロンターレ (スポーツ実践)
	大久保 嘉人 (スポーツ実践)		
平成28年(第45回)			
文化賞	河原 郁夫 (文化活動)		
	鈴木 穆 (文化活動)		
	深見 政則 (文化活動)		
	影向寺重要文化財・史跡保存会 (文化活動)		
社会功労賞	渡邊 嘉久 (保健衛生)		
スポーツ賞	川崎フロンターレ (スポーツ振興)		
アゼリア輝賞	やまだ 豊 (芸術)		
スポーツ特別賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)		
	山口 貴久 (スポーツ実践)		
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)		
	中村 憲剛 (スポーツ実践)		
市民特別賞	成田 真由美		
平成29年(第46回)			
文化賞	小倉 美恵子 (文化活動)		
	川崎市立坂戸小学校合唱団 (文化活動)		
社会功労賞	高野 繁 (保健衛生)		
スポーツ賞	川島 哲男 (スポーツ実践)		
アゼリア輝賞	新井 卓 (芸術)		
	桑原 あい (芸術)		
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践)		
	ニック・ファジーカス (スポーツ実践)		
	川崎フロンターレ (スポーツ実践)		
	小林 悠 (スポーツ実践)		
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)		

川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞・特別賞の経過について

川崎市文化賞等は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

1. 制定 昭和47年（第1回贈呈式 昭和47年11月3日）

- (1) 平成3年度第20回を契機に川崎市文化賞を「川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞」に改正
- (2) 平成15年度第32回に新たにアゼリア輝賞を新設
- (3) 平成17年度第34回に特別賞を新設

2. 賞の内容

- (1) 賞状
- (2) 副賞 文化賞・社会功労賞・スポーツ賞（30万円）
アゼリア輝賞（10万円）、特別賞（10万円）
- (3) 記念品
 - ・文化賞・社会功労賞・スポーツ賞については、渡辺豊重氏デザインによるガラス作品「Heart for You」
 - ・アゼリア輝賞・特別賞については、平山義氏デザインによるガラス作品「燦」
※制作は東京ガラス工芸研究所

3. 受賞者総数

(昭和47年から令和3年まで)	個人	315	(特別賞を含む)
	団体	83	(特別賞を含む)
	計	398	

4. 分野別受賞者

() 内は団体 (再掲)

文化賞		社会功労賞		スポーツ賞		アゼリア輝賞	
教育	33(1)	社会福祉	47(8)	実践	38(22)	学術	1
学術	12(1)	保健衛生	45	振興	17(4)	音楽	18
芸術	56(9)	産業経済	9	合計	55(26)	美術	1
文化活動	54(15)	地域振興	13(4)			演劇	5
合計	155(26)	合計	114(12)			スポーツ	4
						その他	5(1)
						合計	34(1)

特別賞	
合計	40(18)

5. 令和3年度推薦依頼先 156件 (大学・各種団体他)